

# ニューズレター 4月

2021. 4. 1発行



今月は「地震の時に安全な家」、今すぐできる対策についてお届けします。



HPのお問合せはこちらから

コロナ禍で家族の時間が増えたことを実感している人は多いものです。おうち時間が増えれば、快適な家の間取りも変わります。消えていった間取り、これからの必要な間取りをご紹介します。

## 1、大きな地震が来たら……どう対処する？

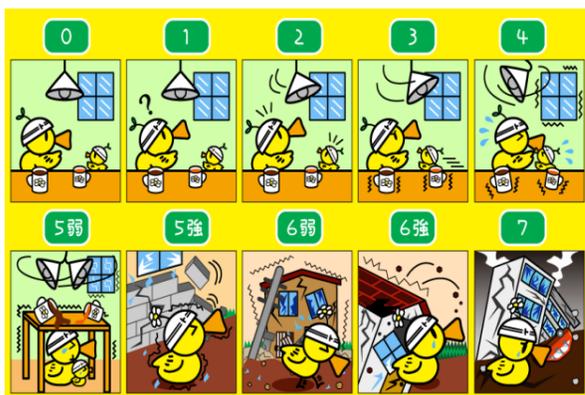


先日、大きな地震が発生しました。毎日を不安な気持ちで過ごしている方もいることでしょう。

**地震時には皆さんはどのような行動をとられたでしょうか？**  
地震に遭われた方の話を聞きますと、リビングの中央で踏ん張ったという人、逃げ場がわからず室内をうろろし続けた人、机の下にもぐったなどという声も。

今回は、地震時に安全な家のつくりや、今すぐやっておきたい地震対策をご紹介します。

## 2、地震発生時、意外と迷う「どこに逃げる」か



地震が発生したら、家の中のどこにいれば安全なのでしょう？

昭和の時代には「地震の時は机の下へ」と言われ、学校の避難訓練では、落下物や倒れてくる家具から身を守るために、まず机の下にもぐる練習をしました。

ただこれはケースバイケースで、落下物から頭を守りやすくなるかもしれませんが、大きな地震では机ごと飛ばされる可能性もあります。1995年に発生した阪神・淡路大震災の経験者からは、「地震時に寝ていたら、大きなテレビが身体すれすれに飛んできて命の危険を感じた」という話を聞きました。

また昔は、地震が来たら「トイレに逃げ込んだら安心」とも言われていました。というのも、トイレは1畳ほどの小さな部屋を4本の柱で囲んでいますので、地震が来ても潰れにくいとされてきたからです。

確かにトイレ内は上から落ちてくる物や倒れてくる家具がないので、ケガの心配は少なくなります。そういった面では他の部屋よりは安全と言えるでしょう。

## 3、「トイレが安全」説は前提条件ありき！

しかしこれは、家が「倒壊」しなければの話です。倒壊とは、室内空間がなくなるほど家がつぶれてしまうことで、2018年の熊本地震では倒壊した家も少なくありませんでした。

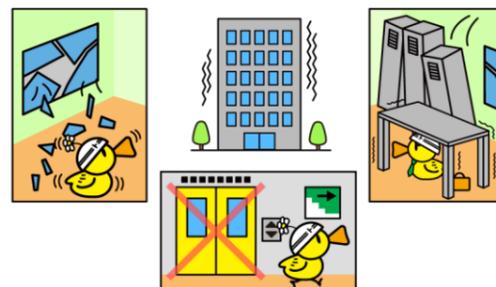
**そうなれば、トイレ内に避難したとしても無事ではありません。**

つまり地震が来たらトイレの個室に逃げ込めば安心というのは、家そのものが無事であることが前提の話ということになります。

またトイレに避難することには、ひとつ危険が伴います。地震で家がゆがんでしまうとドアが開かなくなる可能性があるのです。そうすると狭いトイレの中に閉じ込められてしまいます。

リビングであれば掃き出し窓などから外に出ることができますが、トイレの窓は小さいのでなかなかそういきません。もしもトイレにいる時に大きな地震が来たら、まずはドアを開けて逃げ道を確保しつつ、命の安全を優先に行動することを心掛けていただければと思います。

## 4、地震時に「安全な家」とは？熊本地震の調査で分かったこと



では地震時に安全な家とはどんな家でしょうか？

まずは倒壊しないこと、そして落下物や家具の転倒によるケガをしない家であることです。もちろん、津波や火災などの危険がある場合は、速やかに避難することが肝要になります。

地震時の建物の強さは建築基準法によって定められていますが、この基準は大きな地震を経るごとに新しい基準へと強化されてきました。この基準が大きく変わったのが1981年。

この年を境目に地震への強さが大きく変わり、それ以前を旧耐震基準、それ以降を新耐震基準と呼んで区別しています。

これは一戸建て・マンション共に共通で、新耐震基準に沿って建てられた家であれば、倒壊しにくい家といえます。また旧耐震基準の家でも耐震改修をして新しい基準を満たしていれば安心です。

加えて、木造住宅の場合は2000年にも追加された基準があります。その内容は、柱と梁などの接合部をしっかりと金物でつなぐ、壁の配置バランスをよくするというもので、熊本地震の被害状況の調査では、新耐震と旧耐震の家で倒壊数に大きな差があっただけでなく、2000年以降の家は、それ以前の家と比べて被害が少ないことが分かりました。

つまり木造住宅の場合は、2000年の基準もチェックしておくことで、更に安心度が高まるというわけです。

## 5、地震時に「安全な場所」はどこ？地震対策で今すぐできる3つのこと

次に、地震時に家の中のどこにいれば安全か考えてみましょう。大地震の被害では、建物の倒壊だけでなく、家の中のあるものによる被害も少なくありません。つまり家の中で安全な場所は、「落下物や倒れてくる家具がなく、ガラスが飛び散らず、そしていざという時に外へ出やすい部屋」なのです。

そこで地震対策として今すぐできることを3つ、ご紹介しましょう。

1、落下物や家具の転倒、物の飛び出しを防ぐ工夫  
大型家具は建物と一体化するようにしましょう。ホームセンターで売っている転倒防止金具を使うといいでしょう。但し、固定する天井や壁は下地に必ず止めましょう。(下地チェッカーはホームセンターで売っています)

2、ガラスの飛散防止  
飛散防止フィルムを張りましょう。ホームセンターで売っています。

3、備蓄品の準備  
水は3日分を用意。(4人で36リットル)  
2リットルペットボトルで18本分です。

収納位置は重いものは下に、軽いものは頭の上に収納しましょう。

**株式会社 渡辺組**

本社 海津市海津町高須町720-1  
0584-53-0174

リフォーム 海津市海津町馬目371-3 (コーポ日新1F)  
0120-202-988  
E-mail info@watanabegumi-kaizu.com  
URL http://www.watanabegumi-kaizu.com/

**土木建築**  
**リフォーム**

\*毎月皆様の暮らしのお役立ち情報をお届けしています。何かお気付きの事や知りたい事などございましたらいつでもご遠慮なくお申し付け下さい。皆様のご意見ご感想を元にお役に立てれば幸いです。